

## 雪害に対する留意事項について

- 県内では平地部も含む広い範囲で積雪が確認されており、7日から風が強まることから、地吹雪による視程障害や吹き溜まり等が発生しやすい状況にある。
  - ⇒ 車での立ち往生などの危険性もあることから、不要不急の外出を控えることや外出する際は車両に水、食料、毛布、防寒着等の防災用品を備えるなどの対策が重要。非常連絡用の携帯電話の充電やガソリンを満タンにしておく、一酸化炭素中毒の防止のためにマフラー付近を除雪するためのスコップの携行なども必要。
- 風が強いことから、屋根等に雪庇が生じやすく、屋根等からの落雪事故や雪庇により屋根の位置を見誤り転落事故の発生が懸念される。
  - ⇒ 屋根等の落雪に注意するとともに、雪下ろし作業時はヘルメット、命綱等の安全対策を行ったうえで作業を行うことが重要。
- 気温0℃付近での降雪は、樹木や電線に着雪しやすいため、倒木や停電が懸念される。
  - ⇒ 倒木による孤立や停電等に備えて、家庭内の水、食料、懐中電灯、充電器等の備蓄物資を備えるなどの対策が重要。
- 今年度は、まとまった雪の降り始めが早く、今後の天候（雨等）によっては、重い雪となり建物被害が懸念される。
  - ⇒ 雪おろシグナルなども参考にしながら、タイミングよく雪下ろしを行うことが重要。

### <参考：雪おろシグナル>

<https://gisapps.bosai.go.jp/seppyo/snow-weight-niigata/>

- 年末までの降り積もった雪の上に、新たにまとまった降雪となることから、表層雪崩の発生が懸念される。
  - ⇒ 雪崩パトロール等の実施により、雪崩の危険性を早い段階で発見し、早期の対策を行うことが重要。